

令和元年11月10日執行

須賀川市岩瀬郡選挙区

福島県議会議員一般選挙選挙公報

福島県選挙管理委員会

34【若さ】【発信力】【経験】 歳！行動力が武器です

県政一新！ 新時代への責任



わたなべ
渡辺 公明
自民党公認
公明党推薦
こうへい

風評払拭のために
海外における
情報発信を強化

福島空港の
利活用による
地域産業の活性化

県民の命を
守るための
医療福祉の充実

【経歴】
須賀川市議会議員（平成27年～令和元年9月）
福島県議会議員 斎藤健治私設秘書（平成27年）
航空自衛隊（平成16年～平成24年）

【学歴】
日本大学通信教育学部 卒業
福島県立須賀川高等学校 卒業
須賀川市立第一中学校 卒業

元自衛官として経験を活かした
「災害に強いまちづくり」
が私の使命です！



市議20年、肝っ玉お母さんは、被災者救援へ全力、いのちを守る県政を

党派をこえて 初の女性県議を



日本共産党
丸本 ゆみこ

全壊・半壊一部損壊へもつと支援を
河川改修や堤防整備を

台風で被災されたみなさまへ、心
よりお見舞い申し上げます。
「3年間で2300億円のイノベ
構想より、年80億円で可能な消防
職員1千人増員を」――災害に強い、
いのちを守る県政へ全力をあげます。

全国1位の財政力（国民1人あたりの財政規模）をいかし
くらしに希望と安心を

県内過半数こえる32自治体で補助
学校給食費を
無料に（県予算の
0.6%で可能）

子どもの均等割なくし（野中府用）
国保税引き下げを
ジェンダー平等社会の実現を

国・県が中小企業を
支援して
最低賃金は
今すぐ1000円以上

須賀川高校へ 県立長沼高校の存続を
公立岩瀬病院の統廃合・病床削減
許さない

消費税10%の自公政権にノーを
5%減税で景気回復を

安倍政権に代わる野党連合政権を
原発ゼロ、9条改憲ストップへ全力

略歴▶●1962年生まれ。横浜女子短期大学卒●元仁井田小PTA会長（女性初）●保育士●須賀川市議5期 ▶事務所 須賀川市南町186 電話0248-94-7278

宗方たもつの政策



むなかた
宗方たもつ

大震災からの復興へ、
まだ道半ば
●双葉地方の本格復興へ
●福島第一原発および第二原発の廃炉推進

次世代のための
再生可能エネルギーを
●県有施設の再エネ・省エネの実践
●阿武隈地域に風力発電の推進

観光振興
●天栄・羽鳥を「東北の軽井沢」へ

産業界への提案
●小規模事業者の事業継承支援
●小規模農家の経営安定化
●農業・産地化支援
●産直販売、「道の駅」支援

医療の充実
●公立岩瀬病院を守る

政治は弱者救済が基本
●中高年の引きこもり対策
●児童相談所の強化
●保育の質の確保へ

防災対策
●まず台風19号水害からの復旧を最優先に

人口減少対策への取り組み
●県民主役の総合計画づくり
●住民主体のまちづくり再整備
●鏡石駅東地区第3工区推進

東京オリンピック・
パラリンピックへ向けて
●市町村と連携し、聖火リレーの盛り
上げを
●国際チャーター便の誘致へ インバ
ウンド

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま印刷したものです。
候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。

令和元年11月10日執行 須賀川市岩瀬郡選挙区
福島県議会議員一般選挙選挙公報
 福島県選挙管理委員会



川田
まさなり
 七十六歳

この度の台風19号で被害に遭われた方々に、心よりお見舞いを申し上げます。

ふるさとを第一に考える「川田昌成」だからこそ、ふるさとの非常事態には居ても立つてもらいたくない！
 ふるさとの福島県を再び蘇らさせるために、
 「熱き魂」と豊かな「郷土愛」を持った不肖「川田昌成」を7度、
 県政の舞台に送り届けていただけませんか！

**党派に左右されない県政の
 ご意見番として**

これまでの経験・人脈を活かし、ふるさと再生のために
**誠心誠意、皆様に
 ご恩返しをさせていただきます。**

仏を作ったら魂を入れることが肝心です。
政治に魂を！
 頑固オヤジ 70歳の魂！

繁栄は郷土愛から！
 私たちのふるさとを想う、熱き魂を県政に

命、福祉、農業、地域商工会の活性化、環境、文化、スポーツの振興、それが私の使命です。
 一粒万倍の気持ちで全力で頑張っております。

川田まさなりプロフィール
 昭和18年9月4日生まれ。安積高校・明治大学第二法学部卒業。昭和58年旧岩瀬村議会議員初当選。昭和62年福島県議会議員初当選（6回当選）。平成23年福島県議会議員再選。JC活動5年（昭和59年福島ブロック副会長）



すべては
 地域住民のために
吉田こうじ
 元 鏡石町議会議員
 無所属 41歳 医師

「行動するドクター」吉田こうじは、これまでの政治家や他の候補者とは全く違う、「嘘をつかない政治家」です！

頑固で真っ直ぐな 吉田こうじならば必ず実現する政策

専門性や特殊性を有する医療・介護・福祉の充実には、その分野の表（患者・利用者、家族など）も裏（医療・介護・福祉サービス提供側）も十分に知っている医師の吉田こうじでなければ、抜本的な改革は絶対にできません。公立岩瀬病院を新しい時代に即した形で必ず存続させていくための具体的なアイデアも持っています。

弱者の気持ちがよくわかる 吉田こうじが取り組む政策

台風19号による阿武隈川水害にて、鏡石町成田の自宅が大規模浸水被害を受け、吉田こうじも大変辛い経験をしました。県議会議員となり、被災者支援や復旧・復興政策に力を入れ、阿武隈川・釈迦堂川などの治水や防災・減災対策、農業者戸別所得補償に真剣に取り組み、二度と大水害のない安全・安心なまちづくりを行います。



自民党公認
 公明党推薦
水野まさる
 5児の父

**県を動かし
 須賀川市・
 岩瀬郡を変える
 6つの政策**



YouTube
 自己紹介動画！

<p>水野そだ育てる 子どもは地域の宝、福島県の未来です</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人間力養成 ● 英語、コミュニケーション能力育成 ● 放課後教育の充実 ● 学校給食無償化 ● 須賀川市役所教育委員会での行政経験 ● 中学3年終了時まで全員が英検3級を取得する 	<p>水野つな繋げる 官と民、世代間を繋げる架け橋になります</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 産学官民、農工商連携 ● ほ場整備事業受益者負担軽減 ● 農地を次世代に継承 ● シルバー世代の健康就労 ● 須賀川市役所産業部、健康福祉部での行政経験 ● 耕作放棄地を市民農園として活用し交流人口増加、地域活性化を計る
<p>水野さか栄える 地元企業の発展なくして地域の発展はありません</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地元企業の振興 ● 福島空港と関西国際空港の就航 ● 福島県産農産物の市場拡大 ● 通年交流人口の拡大促進 ● 須賀川市役所産業部での行政経験 ● 福島空港からハブ空港である関西国際空港への就航の実現 	<p>水野まも守る ここに暮らす住民の命と安全を守ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 伝統文化の振興 ● 交通安全対策 ● 振り込め詐欺対策強化 ● 水道水、農業用水確保 ● 須賀川市役所建設部での行政経験 ● 住宅地付近排水路の蓋かけの未着工区間の早期実施
<p>水野つくる 高齢者から子どもまで全ての人が住みやすい街づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 須賀川地域に県立武道館整備 ● 乗り合いタクシー交通網整備 ● 優良住宅用地開発 ● 防災無線受信機全戸配置 ● 須賀川市役所行政管理部での行政経験 ● 高齢化社会に対応した「予約式乗合タクシー」の導入 	<p>水野こた応える 医師、看護師、保育士の確保が急務の課題です</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 障がい者のグループホーム創設 ● 医師、看護師不足解消 ● 保育士不足解消 ● 公務活動費の透明化 ● 須賀川市役所健康福祉部での行政経験 ● 地域の小さな声を行政に届ける「地域担当職員制度」を導入

プロフィール
 須賀川高校卒業
 明治学院大学入学を経てアメリカのジョージアサザン大学 集中英語講座1年コース留学
 平成6年 文教大学卒業
 中学・高校教諭免許（英語）取得
 平成6年 須賀川市役所入庁（勤続20年）
 平成26年 水野とおる行政書士事務所開設
 平成27年 須賀川市議会議員に当選（令和元年9月3日）
 現在 介護福祉業界を支える行政書士

この選挙公報は、候補者から法定期限内に提出された原稿をそのまま印刷したものです。
 候補者等が選挙公報を印刷して頒布すること等は、選挙運動用文書図画の規制等の規定に抵触するおそれがあります。